



南九州市

議会だより

—MINAMIKYUSHUCITY—

第43号

平成30年
8月3日



乗用型摘採競技大会（汐見原茶団地）

【目次】

6月補正予算	P2
条例・請願・人事案件	P5
一般質問	P6
活かせ提言！閉会中の所管事務調査	P12

傍聴席から・議会体験	P14
議会全員協議会	P15
市民の声	P16

6月定例会の主な 補正予算

一般会計補正額
1億2571万円
補正後予算総額
212億4471万円

1860万円

畜産クラスター事業費を増額



県の事業採択見込みによる補助金で、家畜排せつ物処理施設（縦型密閉コンポスト）整備に係る補助金を増額します。

26万円

火災通報装置を設置



消防署からの指摘に基づき、火災通報装置を知覧老人福祉センターに設置することになりました。

1120万円

まちづくり事業費を増額



宝くじの社会貢献広報として、自治会等の自主的地域づくり活動に必要な集会施設の建設や備品購入に対し助成するもので3団体が採択されました。

159万円

防火水槽の撤去費



額娃尾曲自治会の自治公民館建設に伴い、敷地内に防火水槽があり、建設に支障があるため、撤去するものです。

3200万円

知覧平和公園の桜並木長寿命化対策



樹木医の診断で指摘されていた植樹帯の拡幅を行い、根の張りやすい環境を作ることによって、平和のシンボルである桜並木の保存を図ります。

1079万円

知覧茶ブランド力強化対策を増額



「まるごとにつぼん」（東京浅草）での南九州市特産品の展示・販売や知覧茶を活用したサプリメントの開発などにより、知覧茶の認知度を向上させ、リーフ茶の需要拡大を目指します。

257万円

空き店舗活用補助金を増額



空き店舗活用事業に新たに店舗改修3件と家賃補助4件の申請があり、店舗改修で知覧地域1店舗、額娃地域2店舗に助成します。

5598万円

かわなべ森の学校の活用



地方創生推進交付金事業の新規採択に伴い旧長谷小学校跡地を活用し、サマースクールやキャンプなどの事業展開を図るため、廃校舎の改修などを行います。

一般会計補正予算
賛成多数で原案可決

かわなべ森の学校の活用

活用案は。

問 活用案は。
答 サマースクール・スクールキャンプ・イベント会場レンタル・企業研修・おためし居住・DIYワークショップ

問 事業内容は。

答 廃校舎の改修・食堂の設置・シャワー室の増設・空き家再生のための改修・廃校舎の管理運営

問 かわなべ森の学校のために設立された運営団体が、NPO法人ではなく一般社団法人を立ち上げた理由は。

一般会計補正予算
賛成多数で原案可決

答 将来は収益をあげ、自立を目指していく中で、当該団体が一般社団法人を選択した。

委員会から

市が積極的に情報を入手し、将来にわたってモデル事業として成功するよう、実施団体を支援することを強く要望する。

尾曲自治会の公民館建設に伴う、防火水槽撤去

撤去後の消防水利

問 撤去後の消防水利は。
答 自治会内に消火栓8基、防火水槽が5基あるので、支障はないと考える。

知覧庁舎の一部トイレ洋式改修

問 改修理由は。
答 女性市民や高齢者の方から改修の要望があったため。

一般会計補正予算
賛成多数で原案可決

知覧老人福祉センターの火災通報装置設置

今まで指摘はなかったのか。

答 建設時は高齢者以外も利用する集会所であり、設置義務はなかった。消防署が現在の運営形態を確認し、指摘を受けて設置となった。

委員会から

継続事業や例年実施される事業にも関わらず、当初予算に計上せず、補正予算で計上している事業が見受けられる。しっかりと当初予算を組むように。

一般会計補正予算
賛成多数で原案可決

国民健康保健事業 特定保健指導の栄養教室、運動教室

教室の実施場所と回数。

答 穎娃・知覧・川辺のそれぞれの保健センターで、栄養教室1回と運動教室3回の実施を予定している。

知覧茶ブランド力強化対策

問 知覧茶を使ったサプリメント製作の内容は。

答 本市と包括協定している(株)DHCと業務委託し、知覧茶のカテキンと葉酸を合わせたサプリメントを3年間かけて開発及び宣伝PRする予定。

知覧平和公園の桜並木保存対策事業

問 これまでの対策と効果は。

答 ある程度の樹勢回復はあるが、根本的な解決には至っていない。

問 他の樹木管理との均衡や平和のシンボルという観点から一般財源ではなく、基金などの特定財

源を活用できないか。
答 今後、検討をしていく。

委員会から

この桜並木の保存には、これまでも多額の予算を投じている。効果が最大限出せるよう、保存方法を十分検討すること。3年間で8500万円の総事業費は、他事業への影響も考慮し、平和基金の充当や企業版クラウドファンディングの活用など、特定財源の充当を検討するよう強く要望する。

特別会計補正予算
賛成多数で原案可決

水道事業 中渡瀬水源池及び只角水源池の施設の修繕

問 損害の保険適用は。
答 両施設とも落雷による被害で、全額保険適用される。

人事案件

◆固定資産評価員◆



福留 保氏
副市長
穎娃町別府

毎年3月31日までに固定資産の価格を決定するものとされており、その決定を補助するため評価及び評価調査を作成するのが固定資産評価員の職務で、条例で一人と定めています。

前任者の解任に伴い、地方税法第404条第2項の規定により、南九州市固定資産評価員に選任されました。

条例の制定・改正

南九州市子ども医療費助成条例の一部改正

県の方針を受けて、市町村民税非課税世帯の未就学児を対象に平成30年10月受診分から医療費の窓口負担の無料化を行うための改正。

南九州市半島振興対策実施
地域産業開発促進条例の制定

半島振興法に基づき、本市の産業振興を促進するための条例。
工場の新設や増設等の設備投資を促進するため、固定資産税を軽減する特例を設ける。

南九州市税条例の一部改正

地方税法等の一部改正による条例改正。
給与や公的年金に対する所得控除の見直しにより非課税限度額を10万円引き上げることやたばこ税の段階的な引き上げ等の改正を行うもの。

その他の条例改正

- ・南九州市国民健康保険税条例の一部改正
- ・南九州市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ・南九州市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ・南九州市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ・南九州市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

市民の声を行政に問う

一般質問 11人が登壇

議会会議録はこちらで見ることができます。

- ◎地区公民館
- ◎市立図書館
- ◎南九州市ホームページ

防犯対策強化

防犯灯や防犯カメラを設置する考えは

市長／慎重に検討していく



吉永 賢三 議員

置いている。道路や公園などの屋外で設置している所はない。
防犯・安全対策の抑止効果に期待できる有効な対策の一つである。設置する場所や管理運用など県の指針に即して、慎重に検討していく。

教育長 通学路の防犯灯は、関係団体と合同点検を実施し、必要な箇所を抽出して設置の検討を行い整備している。
学校におけるカメラ設置は、不審者の侵入防止に効果があると承知しているが、人が侵入できる箇所が多いので防犯カメラの設置だけでは対策は万全ではないと考える。
不審者対応マニュアルに沿った訓練や校内巡視を行い、侵入防止に努めている。

吉永 昨今、県内外で児童生徒や女性に対する様々な犯罪が発生している。
安心安全で住みやすいまちづくりのため、防犯灯と防犯カメラを設置し、防犯対策の強化に取り組む考えはないか。
市長 防犯灯は、市の補助金制度を活用して、各自治会で設置している。防犯カメラは、知覧特攻平和会館、えい中央温泉センター、川辺やすらぎの郷等で、展示品の保護や防犯対策を目的に設



防犯カメラの設置で対策強化を

岩屋公園の観光資源の活用

関係する部署が連携し、さらなる集客を

市長／関係課間の協議・連携を図り活用策を探る



山下 つきみ 議員

ら、磨崖仏群や万之瀬川の自然の良さをPRし、公園利用者の増大・交流人口の拡大に取り組む。

やすらぎの郷に観光案内所を設置する考えは
市長／市観光協会等と検討していく

山下 やすらぎの郷の年間20万人以上の集客機能を活かし、HP、SNSにはないおもてなしの心で情報提供する観光案内所を設置できないか。
市長 施設の設置目的は、市の農畜産物の加工販売ならびに農業及び観光情報の提供を行い、地域の活性化を図るものである。
費用対効果などの判断は厳しい状況だが、本市の観光振興を図るための対策として、市観光協会等と検討していく。

市民の利便性の向上

住民票等のコンビニ交付サービスを導入する考えは

市長／費用対効果などの検証を行い検討したい



大久保 太智 議員

による案内やリーフレットを配布した。今後も引き続き取得拡大を図っていく。

仏壇産業の振興について
市長／事業補助金を交付することににより支援を行う

大久保 廃止された工芸品創作技術コンクールを復活できないか。

市長 現段階ではコンクールの再開は考えていない。
大久保 川辺仏壇協同組合への補助金は、広告費または県外催事に限定されている。県内催事にも使えるようにする考えはないか。
商工観光課長 現時点では、考えていない。
大久保 組織の運営を支援する考えはないか。
市長 運営補助金ではなく事業補助金を交付することににより支援を行う。組合運営等の諸問題についても、相談・協議すべき事項があれば柔軟に対応したい。

山下 岩屋公園には文化財、建築物、河川があり、複数の課で所管している。観光資源として集客を図るには、各課連携しての取り組みが必要ではないか。
市長 磨崖仏群の保存と活用、安全面のバランスを判断できる専門家などの意見を聞きながら県を含めた関係課がそれぞれの見地から協議を重ね、連携を図り活用策を探っていくかなければならない。
「南九州市みらい創生協議会」とも連携を図りなが



川辺やすらぎの郷に観光案内所を

市長 費用対効果などの検証を行い導入を検討したい。
大久保 マイナンバーカードの取得を促進する考えはないか。
市長 取得促進キャンペーンを実施し、広報誌



コンビニ交付で利便性の向上を(総務省HP)

農業従事者

育成・確保に向けた新たな施策は

市長／儲かる農業に取り組むことにより有能な人材の育成・確保を図る



大倉野 忠浩 議員

大倉野

本市の新規就農者、農業研修制度利用者の推移と今後の課題と展望をどう考えているか。

大倉野

新規就農者確保に向けた新たな施策を展開する考えはないか。

市長 農業次世代人材投資事業の活用を図りながら、市単独の農業後継者育成確保対策事業を継続する。

林業施策の今後の対策について

市長／林業従事者の育成・確保は重要である

大倉野

課題をどう把握し、どのような対策を講じる考えか。また、林業従事者の育成確保のため新たな支援策は考えられないか。

市長

本市の人工林は本格的な利用期を迎えている。木材の需要は、増大傾向にあるが、林業の担い手が不足している。来年度から交付される森林環境譲与税が担い手育成に使えば、活用に向けて検討していく。

市長 新規就農者、研修制度利用者共に年々減少傾向にある。今後も、農業開発研修センター、農業公社の制度充実を図るとともに、農地集積やICT農業などの新技術を活用した儲かる農業を目指し取り組みことで、有能な人材の育成確保を図る。

研修等事業に関する事業 農業で自立を目指す、意欲のある方を募集します。	
公益社団法人 南九州市農業公社	
市のPR	恵まれた自然の中で、市民にやさしい生活を目指し、環境対策、産業の振興、教育、福祉の発展に市をあげて取り組んでいる。
研修作物	クルマ、キタ、その他花き
研修期間	原則1名あたり1,000日
農業実践研修(方法)	農業公社が運営する研修施設で、生産技術や経営管理技術まで南九州市、南九州市農業公社、南九州市農業協同組合(JA)、農業公社が指導助言する。
研修期間	原則として2年(受入時期は原則4月1日)
募集人員	毎年2名程度
募集条件	南九州市に定住し、市内において専業で農業に従事し、将来にわたって自ら農業経営を行う50歳未満の方。
生活支援	ファームサテライト15万円(2年間)(市3万円・JA3万円・農業公社8万円)
その他の支援	機械・施設 各種補助事業の活用 農地 南九州市農業委員会が斡旋する。 住宅 空き家・農家住宅等の斡旋に努めている。
研修施設・機械等	①暖房プラスチックハウス6棟(5,940㎡) ②暖房ビニールハウス2棟(1,861㎡) ③管理棟1棟(作業場兼格納庫) ④冷凍庫2基 ⑤トラクター1台 ⑥灌漑機1台 ⑦動力噴霧機1台
連絡先	公益社団法人 南九州市農業公社 南九州市川辺町平山3234番地 TEL 0993-56-1111(内線4259-4260)

農業公社の研修パンフレット



蔵元 慎一 議員

蔵元

H29年度から実施している自治会サポート制度は、市職員が全自治会の担当となり、サポートする制度である。

市長

アンケート結果によれば、制度を利用して職員に相談した件数は253自治会中106自治会である。また、89%の方が制度について良い印象を持っているとのこと

住民とともに進めるまちづくり

自治会サポーター制度の成果は

市長／制度協議会で検証を重ねていく

で、制度として一定の評価を得ている。当初の計画通り31年度まで実施の方向で進めていく。

商工業者の事業承継を支援する考えは
市長／促進する取組みを検討する

蔵元 多くの中小企業の経営者が今後5年程度で事業承継のタイミングを迎える予想する。調査によると60歳以上の経営者の50%が廃業を予定し、そのうち3割近くが後継者の確保ができないことを理由としている。また、廃業を予定している4割が、今後10年間の事業の将来性について、維持・成長が可能としている。早急に事業承継を支援する考えはないか。

市長

商工会と密接に連携し、商工業者の事業承継を促進する取組みを検討する。



知覧まち商店街

光回線整備

計画的な整備を行う考えは

市長／本年度から早急に取り組みたい



日置 友幸 議員

日置 光回線の計画的な整備を行う考えはないか。

市長 H29年度から整備に向けた検討を行っている。市内の情報格差を可能な限り解消できるよう前向きに検討する。

日置

暮らし、企業活動、移住定住などの観点から整備が必要ではないか。

企画課長

超高速ブロードバンドを前提とした社会となっており、必要不可欠である。整備の財源につ

【固定系超高速ブロードバンド整備率】

国全体 :99%(総務省 平成29年)
南九州市:70%

【市内未整備地区一覧】

市内局番
39局(青戸・粟ヶ窪)
57局(勝目・大丸・高田の一部)
84局(中福良・鶏出・坪辺)
85局(松山)
86局(松ヶ浦)

える。本年度から早急に取り組みたい。

アグリランドえいの今後の方針は

市長／活用検討委員会の答申を踏まえ、検討

日置

活用検討委員会が答申を出したが、今後の方針とスケジュールを問う。

市長

答申内容を踏まえ、方針案を策定する予定。方針を策定したら、活用を検討する。

日置 光回線の整備はふるさとづくりだ。子どもたちが帰って来られるふるさとをつくるために、整備は待ったなしだ。市長の見解を問う。

市長

整備は必要と考

今までの方法だけでなく、民間の活力を導入していきたい。自然景観に配慮した形であれば、農業にこだわらず、運営をしても良いと考える。



西 次雄 議員

西

新庁舎建設計画と並行して、顕娃・川辺地域の振興策を検討すべきと思うが、考えを問う。

市長

南九州市庁舎建設等市民検討委員会の提言で、「3地域の均衡ある発展のため顕娃地域及び川辺地域についてそれぞれの地域特性を活かした地域振興策を講じる」とある。

それぞれの地域特性を活かした振興策や市民サービスにつながるような新たな仕組みを検討したい。

新庁舎建設計画と並行して顕娃・川辺地域の振興を

市長／地域特性を活かした振興策を検討

西

支所の新たな仕組みについて、庁舎建設と併せて検討するのか。

総務課長 新たな仕組みや市民サービスの振興策は別途検討していく。
西 新庁舎建設に伴う顕娃地域及び川辺地域の市民の利便性が低下するとの声があるが、市長の考えを問う。

市長

顕娃・川辺支所については、できるだけ総合支所方式に近い形で、支所を残したほうが良いと思っている。



新庁舎建設候補地

地籍図

登記名義人の記載を

市長／システムの更新に合わせ実施



竹迫 毅 議員

できるだけにしたい。
竹迫 県内には土地閲覧台帳の写しを交付している自治体もあるが、シ

ステムの更新までの間、土地閲覧台帳の写しを交付してはどうか。
市長 地籍図に登記名義人を記載することにより閲覧については減少すると考えられることから、交付は考えていない。

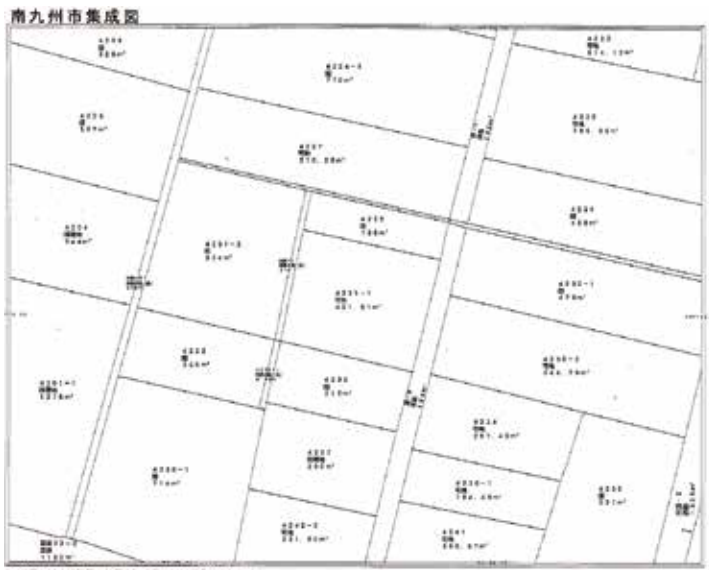
その他の質問

・教育行政について

竹迫

本年度から地籍図に「地目、地積」を表示して発行するようになった。登記名義人まで記載した地籍図の発行を行っている自治体もある。できるだけ早く登記名義人も記載した地籍図の発行を行い、利便性の向上を図ってはどうか。

市長 県内18市の状況を見ると「登記名義人」を記載して、地籍図を発行している自治体があることから、本市もH31年11月のシステム更新に合わせて「登記名義人」を記載



地目と地積を記載した地籍図

農地整備計画は

市長／事業実施を見据え調査を行う



菊永 忠行 議員

家の方から農地不足の声があり計画区域とした。事業実施を見据えた基礎的な調査を行う。
菊永 今後、高齢化が進み担い手不足が予想されるが、整備後の活用をどう考えるか。

菊永

H30年度において、中山間地域総合整備事業で汐見原地区の調査が予定されているがどのような事業を見込んでいるのか。
市長 基礎調査測量業務委託を計上し、山林を農地に造成する農用地開発事業となる。

補助率の高い中山間総合整備事業を予定している。場所については、知覧地域の南部で管理されていない山林を含む約94ヘクタールである。地域農



農地開発予定位置図(赤で囲った部分)



汐見原地区(知覧地域)

の農地集積により耕作面積は減少していない。本市では、南の食糧供給基地として今後も農業振興に力を注いでいく。整備後は、県農地中間管理機構に貸し付け、農地集積協力金の交付を受け、活用したいと考えている。

住みやすい住宅の確保と地域経済、仕事おこしを

市長／既存の制度継続と独自のリフォーム助成制度を研究したい



大倉野 由美子 議員

助金制度を設けている。H24年度から29年度まで16件に交付済みである。空き店舗活用事業補助金の見直しと併せて、既存の店舗活用が図られる事業承継補助金についても検討していく。

太陽光発電設置は住民合意が必要ではないか
市長／ガイドラインに基づき対応する



太陽光パネル

大倉野 太陽光発電設置について、行政内の共通認識が図られていないのではないかと。
市長 共通認識の改善策として、事前に事業計画書の提出をもとめ、関係部署が早期の情報共有に努める。

大倉野 環境保全、住民の安全対策強化の観点から、業者と覚書等を締結するなどガイドラインを見直す考えはないか。

市長 ガイドラインでは環境等に対する申し出等に対し、必要に応じ協定書の締結などの措置に努めることとしていることから、届け出内容に応じて対応する。

小中学校の整備について

市長／気持ちはあるが財政が厳しい



内園 知恵子 議員

が望ましいとの通達だったのか。
教育総務課長 17℃以上28℃以下であった。

内園 今までは、教室の温度は30℃以下が望ましいとのことだったが、

その他の質問
・防災対策

地球温暖化や色々な事を勘案し28℃以下が望ましいとの通達だ。
エアコンを設置しないという立場ではなく、異常気象の中、環境を整え学習の意欲を高める状態に整備してあげるのが大人の役目である。児童生徒の立場に立つて前向きに検討してほしい。



エアコンが設置されている特別教室（知覧小）

内園 児童生徒が、安心して過ごせる良好な環境確保のため、普通教室にもエアコンを設置する考えはないか。
市長 近年の地球温暖化や異常気象等から、児童生徒への良好な学習環境を提供したい。しかし、エアコン設置には多額の導入経費やランニングコストが生じることが想定され、大きな財政負担が伴う。財政状況が厳しい。
内園 教室の温度について文部科学省より通達があったと思うが、何℃

言提せか活

属管所の策対災

調査事務管所の会中閉

てついて部分する

調査の目的

近年、九州各地で大きな災害が発生しています。発生から2年が経過した熊本地震、1年経過した九州北部豪雨災害、さらに突然発生した耶馬溪の山崩れなど、甚大な被害を及ぼしています。

本市では、合併前のH5年9月の台風13号により旧川辺町で9人、旧知覧町で1人の尊い命が奪われた災害が発生しました。

合併以降は、甚大な被害をもたらした災害はありません。27年の台風15号、28年の台風16号、29年には鹿児島湾を震源とした震度5弱の地震が発生しましたが、いずれも想定外とまでは言えない災害でありました。

調査

本市における自然災害でまず挙げられるのは台風や豪雨であり、近年地球温暖化の影響で予測不能な局所豪雨や巨大化した台風の襲来等の危険に

さらされています。

このような中、自主防

①朝倉市（3委員会合同調査）
災組織など住民の危機意識は希薄化し、減災、防災に取組む行政機関は、地域防災計画や災害対策マニュアルを作成しているものの職員の災害対応の経験不足、職員の減少、財政難等により十分な備えが出来ていない状況です。

このようなことから本市議会では閉会中の所管事務調査として、総務、文教厚生、産業建設の各

合併以降は、甚大な被害をもたらした災害はありません。27年の台風15号、28年の台風16号、29年には鹿児島湾を震源とした震度5弱の地震が発生しましたが、いずれも想定外とまでは言えない災害でありました。

・1月25日
3委員会合同調査
・2月5日
各委員会調査
・5月16日
管外調査（福岡県朝倉市、熊本県宇城市、甲佐町）

宇城市では、死者10人、負傷者143人、被災家屋は、全半壊合わせて8576件、避難者数は延べ77680人となりました。



九州北部豪雨災害（福岡県朝倉市）



現地視察（朝倉市杷木地域）



熊本地震災害（熊本市）

総務常任委員会

〈調査重点事項〉

「自主防災組織との連携を含めた防災体制及び活動について」

提言

- ① 想定した範囲の災害への対応ではなく、求められているのは想定外の災害への対応であり、市内のいたる所で発生した災害に対し、初動として行政ができることは多くはない。
このことから住民が自らを助ける自助、次に地域で助け合う共助が必要で、行政はかねてからの自助意識の醸成、そして地域で助け合う共助を有機的に発揮させるための訓練を繰り返し行い、それぞれの地域の特性を認識した災害訓練のための支援・指導を行っていくこと。
- ② 防災計画、初動マニュアルについては災害種別毎に再度検証し、職員に対しては、各自の役割を会議などで周知させ、危険が迫ったときに、より安全な場所へ移動させるなどの判断ができるように教育することや実践に向けての訓練を実施すること。

文教厚生常任委員会

〈調査重点事項〉

「避難所の設置・管理及び避難者への対応について」

提言

- ① 避難所について安全の確保に努めるとともに、状況を適確に把握し避難者の安全を守るよう、避難所職員の教育・研修に取組むこと。
- ② 災害時のボランティア受入、支援物資の受入、救護救済受入体制については、様々な状況を想定したマニュアルを作成し、円滑な受入ができるような備えに努めること。また、大規模災害が発生した場合に備え、県や他自治体などと支援物資の融通などの広域的な応援体制の構築に努めること。
- ③ 要配慮者の把握を行い、地域と連携した支援ができるよう台帳整備と情報の共有に努めるとともに、要配慮者の介護にあたる専門職の確保など、関係団体との協力体制を構築すること。
- ④ 関係機関による応急対策などの活動を迅速・適確に行うために各関係機関と災害時に機能する連絡体制を確立すること。

産業建設常任委員会

〈調査重点事項〉

「水道の確保、仮設住宅対策及び急傾斜地崩壊対策について」

提言

- ① ライフラインの早急な確保については、応急復旧に必要な実効性のあるマニュアルを作成するとともに各分野において相互支援協定を締結しておくこと。
- ② 応急仮設住宅について、発生してから建設地の選定は困難が生じる可能性があることから、事前に現地を確認し、複数の選択肢を検討しておくこと。
また、建設費に多額の費用を要すること及び避難者対応の迅速性という観点から、本市においてはまず、市営住宅の空き住宅の活用を図り、さらにみなし住宅制度を活用することにより迅速な対応ができるよう関係者との連携に取り組むこと。
- ③ 急傾斜地崩壊危険箇所等については、関係する自治会を交えた確認作業などに常に検証を行うこと。また、危険箇所のリンク付けに従って早急な事業実施に取り組むこと。

議会全員協議会

◇行政から説明のあった案件◇

旧番所会館の今後の対応

観光地、景勝地として市内外から多くの観光客が訪れる番所公園。この公園内にはかつて「番所会館」という商業施設がありました。番所会館は市有地に民間人が建設したもので、民間人の所有物です。

H17年、番所会館は閉鎖。老朽化した施設が市有地に残されています。

民間人の所有物である旧番所会館について、市から議会に「安全面と景観面から、建物を撤去する訴えの提起と市の予算で建物を撤去したい」という説明がありました。議会として認めるのか、今後の検討課題となっています。



南九州市消防団の再編計画

消防団の組織再編について、市はH30年度から34年度までの5か年計画を策定します。

団員数確保の負担軽減、確実に出動できる初動体制の強化を図り、効率的な組織体制によって、より活動しやすい整備と適正な配置を進めることが目的です。

地域の消防力の格差を解消するため再編しますが、旧町の枠組みである3方面隊は引き続き継続していくこととしています。

統合・再編のモデル案として、別府地区にある4分団を統合し、別府分団（仮称）とし、活動することになります。

その他の分団については、段階的に統合・再編を進めていく計画です。



南九州市議会議員定数等調査特別委員会の設置について

来年12月の市議会議員選挙を見据え、南九州市議会では、議員定数等について調査するため、特別委員会を設置しました。委員長に西次雄議員、副委員長に大倉野忠浩議員が選任されました。

第1回の委員会は7月12日に行われ、議員間の討議がなされました。以後も委員会を重ね、本年12月を目安に結論を出す予定となっております。

◎議員定数の推移

時期	定数
平成19年 選挙	24人
平成23年 選挙	22人
平成27年 選挙	20人

◎常任委員会の委員定数

常任委員会	定数
総務常任委員会	7人
文教厚生常任委員会	6人
産業建設常任委員会	7人

※特別委員会では、「議員定数については、常任委員会の構成を考慮する必要がある」との意見が出されました。

～議会を体験～

松山小と松ヶ浦小の3年生17人が議会を体験
6月14日に松山小学校3年生15人と松ヶ浦小学校3年生2人が、校外学習で議会を体験しました。議場でそれぞれ議員席に座った児童は、手を挙げて市役所の仕事について質問しました。



6月定例会において、松山地区25人の方々が議会を傍聴されました。
松山地区 文化産業部長 山元 良好
先日、6月20日に松山地区の役員を中心に、議会を傍聴させていただきました。午前10時から12時までのわずかな時間で、松山地区のさらなる発展に力の限り尽力されることを期待します。



～傍聴席から～

全国市議会議長会表彰等

平成30年5月30日、東京で開催された第94回全国市議会議長会定期総会において、長年の議員活動を通して、地方自治の発展と市政の振興に貢献した功労に対して表彰がありました。



(10年表彰)
菊永 忠行 議員



(20年表彰)
竹迫 毅 議員



(感謝状)
蔵元 慎一 議員



(感謝状)
伊瀬知 正人 議員



知覧町郡

ムハマド シュクリ
ビン ガザリ

私から見た南九州市

南九州市に移住してきて、もうすぐ一年になります。初めて南九州市を訪れたとき、田んぼ、茶畑、農園や山々に恵まれている緑豊かな景色が広がっていて、見渡すかぎりの大自然の美しさに感動し、とても印象に残りました。また、静かでのどかな町並みを見て、ここに来てよかったなと思っています。特に、「薩摩の小京都」と言われている知覧の町並みが大好きです。美しい武家屋敷のある町

並み、そんな昔ながらの日本らしさが残るまちに住めるなんて本当に夢のようです。

南九州市は、母国マレーシアの田舎と違って施設が整っていて、何の不便もありません。私にとってはもう求めるものがないくらい住み心地が良い場所です。

また、知らない人にも笑顔で「こんにちわ」とあいさつしてくれる人々、胸がいつぱいになるほど美しい夕日と何度も見上げたくなるきれいな星空は感動をくれます。なにげないことかもしれませんが、このようなさいなことで幸せを感じます。

いつも「早く、急いで！」とarryていましたが、今は「のんびり、ゆっくりと生きていこう」と思うようになりました。心とむここ南九州市で、これからも家族5人で毎日を楽しく過ごしたいと思います。

議会を傍聴してみませんか

次の議会は 8月30日（木）開会予定

*手続き簡単 本館2階で住所・氏名を書くだけ

9月定例会

8月30日	本会議（開会）	補正予算等質疑・委員会付託、一般質問
8月31日	本会議	一般質問
9月3日	本会議	一般質問
4日	常任委員会	補正予算等審査
11日	本会議	補正予算等採決、決算認定の委員会付託
12日	決算特別委員会	決算認定審査
13日	決算特別委員会	決算認定審査
14日	決算特別委員会	決算認定審査
18日	決算特別委員会	決算認定審査（予備日）
28日	本会議（閉会）	決算認定採決

◆議会中継◆ インターネット配信または各庁舎ロビーでご覧いただけます。

編集後記

恒例の消防操法大会が梅雨晴れの中、盛大に開催されました。

操法大会は、消火技術の向上並びに初期消火のための必要な技術を身に付け、いかなる状況下においても迅速確実かつ安全に行動できるようにするのが目的です。

その目的達成のために、選手団員の方々が一生懸命、勇敢に競技している姿を拝見し、深い感謝の念と敬意を表したいと思います。

また、消防団員一人一人が、強い使命感と郷土愛護の精神のもと、各自の仕事に従事しながら、災害が発生した際には、いち早く現場に駆け付けていただいていることに、重ねて深い感謝を申し上げます。

さて、議会だよりは議会と市民をつなぐ大切な広報誌としてわかりやすく、親しみやすい内容に努めてまいります。市民の皆様には引き続きご愛読いただき、お気軽にご意見等の声を寄せていただきますよう、よろしく願ひ申し上げます。

（大久保）

▼広報編集委員会

委員長 鮫島 信行
副委員長 日置 友幸
委員 米満 孝二
大久保太智
内園知恵子
松久保正毅